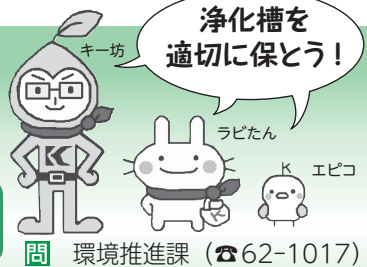


キー坊の環境講座

第120回 10月はクリーン排水推進月間&浄化槽強調月間



① 今日浄化槽について話をするよ。地面に埋まっているこんな箱を知ってるかな？

それなら知ってるよ。排水をきれいにしてくれるんだよ？

② よく知ってるね。じゃあ浄化槽が生きてるってことは知ってたかな？

え、生きてる？ どういうこと？

③ 正確には浄化槽の中にたくさんの微生物が生活して水の汚れを食べてくれているんだ。だから管理には気を使わないといけないんだよ。

そうなんだ～

④ 生きてるんだったら、応援したもつときれいにしてくれないかな？

フレー！フレー！ 浄化槽！

たぶん意味ないんじゃないかな...

浄化槽の適正な管理について

浄化槽は適正な維持管理を行えば、下水道と同じくらい水をきれいにすることができます。しかし、漂白剤の過剰な使用や生ごみ・油の流入などにより浄化槽内の微生物の働きが弱くなると、放流水の水質の悪化や悪臭が発生し、逆に生活環境を悪くする原因になってしまいます。

浄化槽の適正な維持管理のために、浄化槽管理者（所有者）には以下のことが法律で義務付けられています。

- ・浄化槽清掃業者による清掃を年1回以上受けること（浄化槽を使用していると、汚泥が蓄積されます）
- ・保守点検業者による保守点検を年3回以上受けること（機能維持のため、調整や消毒薬の補充などが必要です）
- ・指定検査機関による法定検査を年1回受けること（放流水が水質基準を満たしているか確認します）



もう1枚 今号の表紙

富士松南保育園に移動動物園がやってきました。ヒツジ、ヤギ、ポニーなどの動物たちを間近で見た子どもたちは大興奮。初めは大きな動物たちに少し怖がっていましたが、餌

をあげながら、触れ合う回数が増えると自然と距離が縮まりました。

普段なかなか接することができない動物と触れ合い、子どもたちは終始笑顔でした。

編集者雑感

時の流れは早いもので、今年度も半分が過ぎようとしています。その分歳も重ね、気付けば30歳を超え、アラサーという言葉にも違和感を覚えなくなってきました。そんな私の最大の敵はほうれい線。しかし、ほうれい線を笑い皺(しわ)と言い換えることで、平静を保つよう努力をしています。昔から努力することは得意なのです。あれ、なぜかむなし。

㊦

刈谷市ホームタウンパートナー



TEAM刈谷の挑戦!

刈谷市の誇るトップスポーツチームの期待のエースを紹介します! vol. 35

～アイシン精機相撲部～

よし だ けい す け
吉田圭佑 (26)

【得意技】
出足を生かしての寄り切り

「責任感」と「ココ一番での勝負強さ」はメンバー随一であり、頼りになる存在。高校2年生の時にインターハイで優勝し高校生横綱になり、また全日本実業団相撲選手権大会でも個人優勝を果たし社会人横綱に輝くなど、これまで頂点を極める戦績を残しています。

【本人コメント】

相撲は150kgを超える巨漢同士の激しいぶつかり合いや、相手より体の小さい選手が、技によって巨漢選手を投げ飛ばすさまなど、そのひとつひとつのシーンに熱い歓声が沸き起こるエキサイティングな競技です。大会会場で、その迫力ある技や取り組みを見て臨場感を味わってください。

☆試合情報 第67回全日本相撲選手権大会 (天皇杯)

時 12月2日(日) 11時～18時 場 両国国技館(東京都)

市ホームタウンパートナーとは

市のスポーツ活性化を目指し認定された、刈谷市を本拠地として活躍する12のトップスポーツチームのことです。